



# スプレーガン洗浄用 ガンクリーナー スーパー洗浄液

## 2液型塗料の洗浄向け

イサム塗料スーパー洗浄液は、塩素系溶剤を使用した、スプレーガンの汚れやノズルのつまりを解消する2液型塗料の洗浄に向けたガンクリーナーです。

### 【特徴】

1. 洗い忘れたスプレーガンやカップ、その他の塗料が付着した塗装器具の洗浄に適しています。
2. 低粘度で、ディッピング、ハクリが容易です。
3. 一度使用したスーパー洗浄液は、フィルターで濾過すると再度使用できます。

### 【スプレーガン洗浄方法】

1. 塗料のつまったスプレーガンをマニュアルに従って分解して下さい。
2. 2つの容器にスーパー洗浄液と洗浄用シンナーを必要量入れて下さい。
3. スーパー洗浄液の容器に分解したスプレーガンの部品を、液が飛散しない様に投入して下さい。  
スプレーガンの部品の内、ゴムまたはプラスチックのパッキン・部品はスーパー洗浄液により侵される事がありますので、洗浄液には浸さないで下さい。
4. 約5分間または塗膜の「浮き」を確認するまで浸漬して下さい。  
※汚れの状況により塗膜が浮くまで時間が異なります。過度な浸漬は部品を傷める事もありますので、注意して下さい。
5. 液の飛散に注意しながら、洗浄用シンナーの容器にスプレーガンの部品を移して下さい。
6. 処理済みのスーパー洗浄液は静かにフィルターで濾過して、容器に戻して下さい。
7. 洗浄用シンナーの容器のスプレーガンの部品に残存して付着している塗料カスを洗浄用ブラシで完全に擦り落として下さい。

安全データシート (MSDS)をお読み下さい。

# 安全データシート

作成日 2009年09月03日  
改訂日 2020年07月17日

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 632-7303 スーパー洗浄液  
会社名 イサム塗料株式会社  
住所 滋賀県草津市笠山 8-2-1  
担当部門 滋賀工場品質管理課  
担当者(作成者) 白倉 辰雄  
電話番号 077-562-1360  
FAX番号 077-562-1364  
メールアドレス is-hinkan@isamu.co.jp  
製品の種類 塗膜剥離剤  
主な用途 塗膜剥離用

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

引火性液体:	区分外
急性毒性	
経口:	区分4
経皮:	区分外
吸入(気体):	分類できない
吸入(蒸気):	区分外
吸入(粉じん、ミスト):	分類できない
皮膚腐食性/刺激性:	区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	区分2
感作性	
呼吸器:	分類できない
皮膚:	分類できない
生殖細胞変異原性:	区分外
発がん性:	区分2
生殖毒性:	区分1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	区分1(肺、気管支、腎臓、中枢神経系、全身毒性、視覚器)、区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	区分1(中枢神経系、脾臓、肝臓、血管、視覚器)
吸引性呼吸器有害性:	区分外
水生環境	
急性有害性:	区分2
長期間有害性:	区分2
オゾン層への有害性:	分類できない

### GHSラベル要素



**危険**

### 危険有害性情報:

飲み込むと有害  
強い眼刺激

水生生物に毒性  
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
 長期継続的影響によって水生生物に毒性  
 発がんのおそれの疑い  
 皮膚刺激  
 臓器(肺、気管支、腎臓、中枢神経系、全身毒性、視覚器)の障害  
 (気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ  
 (麻酔作用)眠気又はめまいのおそれ  
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(中枢神経系、脾臓、肝臓、血管、視覚器)の障害

注意書き:

《安全対策》

使用前に取扱説明書を手に入ること。  
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 容器を密閉しておくこと。  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
 取扱い後は手及び身体をよく洗うこと。  
 環境への放出を避けること。

《応急措置》

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師に連絡すること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。  
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。  
 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。  
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。  
 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは、医師に連絡すること。口をすすぐこと。  
 漏出物を回収すること。  
 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

《保管》

容器を密閉し、換気の良い場所で、施錠して保管すること。  
 子供の手の届かないところに保管すること。

《廃棄》

内容物/容器を、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

有害性:

発癌性の疑いがある物質を含有している。  
 変異原性の恐れがある物質を含有している。  
 腐食性がある。接触により生体組織を破壊させる恐れがある。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

混合物

成分及び含有量(危険有害性物質を対象):

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	CAS No	安 衛 法	PRTR 法
ジクロロメタン	84%	75-09-2	表示対象物/通知対象物	1種 186
メタノール	5 ~ 10%	67-56-1	表示対象物/通知対象物	該当しない
イソプロピルアルコール	1 ~ 5%	67-63-0	表示対象物/通知対象物	該当しない
添加剤	1 ~ 5%	非公開	該当しない	該当しない

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	CAS No	安 衛 法	PRTR 法
トリエタノールアミン	1 ~ 5%	102-71-6	表示対象物/通知対象物	該当しない

#### 4. 応急措置

##### 吸入した場合:

蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

症状が改善しない場合は、医師に連絡すること。

蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。

呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。

嘔吐物は飲み込ませないようにする。

直ちに医師の手当を受けること。

##### 皮膚に付着した場合:

付着物を布にて素早く拭き取る。

大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

##### 眼に入った場合:

直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。

出来るだけ速く医師の診断を受けること。

##### 飲み込んだ場合:

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。

嘔吐物は飲み込ませないこと。

医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

#### 5. 火災時の措置

##### 消火剤:

水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

##### 使ってはならない消火剤:

特になし

##### 特有の消火方法:

このものに可燃性はない。

周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。

安全に対処できるのであれば可燃性のものを周囲から素早く取り除く。

指定の消火剤を使用すること。

高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。

消火活動は風上より行う。

#### 6. 漏出時の措置

##### 人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置:

作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

##### 環境に対する注意事項:

河川への流出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

##### 封じ込め及び浄化の方法及び機材:

漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。  
 大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。  
 水での洗浄等も、河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い上の注意

取扱いは、換気の良い場所で行う。  
 容器はその都度密栓する。  
 密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。  
 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。  
 取扱い後は、手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。  
 指定された以外の材料と混合しないこと。

### 保管上の注意

日光の直射を避ける。  
 通風のよいところに保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 設備対策:

排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。  
 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接ばく露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。  
 タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。  
 装置は耐腐食性のある材質を用いて作ること。  
 腐食性物質に、作業者が直接触れたり、ばく露したりしないような配慮をすること。

### 管理濃度及び許容濃度:

	管理濃度	許容濃度
ジクロロメタン	50ppm	50ppm 日本産業衛生学会 50ppm ACGIH(TWA)
メタノール	200ppm	200ppm 日本産業衛生学会 200ppm ACGIH(TWA) 250ppm ACGIH(STEL)
イソプロピルアルコール	200ppm	400ppm 日本産業衛生学会 200ppm ACGIH(TWA) 400ppm ACGIH(STEL)
添加剤	設定されていない	設定されていない
トリエタノールアミン	設定されていない	5mg/m <sup>3</sup> ACGIH(TWA)

### 保護具

#### 呼吸用保護具:

有機ガス用防毒マスクを着用する。  
 密閉された場所では送気マスクを着用する。

#### 手の保護具:

有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

#### 眼の保護具:

保護眼鏡を使用する。

#### 皮膚及び身体の保護具:

取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

## 9. 物理的及び化学的性質

形状:	液体
色:	無色不透明
臭い(臭いの閾値):	溶剤臭
pH:	情報を有していない
沸点:	40.2°C
沸騰範囲:	情報を有していない
引火点:	情報を有していない
燃焼又は爆発範囲(下限):	14Vol%
燃焼又は爆発範囲(上限):	22Vol%
蒸気圧:	58659Pa
密度:	1.25g/cm <sup>3</sup>
自然発火温度(発火点):	情報を有していない

## 10. 安定性及び反応性

反応性/化学的安定性:

常温付近では危険な反応しない。

危険有害反応可能性:

特に情報を有していない。

避けるべき条件:

高温(40°C以上)にならないようにする。

混触危険物質:

酸化性物質、酸類

危険有害な分解生成物:

燃焼により、一酸化炭素、窒素酸化物、その他低分子モノマーなどの有毒ガスが発生する。

## 11. 有害性情報

有害性情報:

	急性毒性-経口	急性毒性-経皮	急性毒性-吸入 (気体)	急性毒性-吸入 (蒸気)	急性毒性-吸入 (粉じん、ミスト)
ジクロロメタン	区分外	分類できない	分類対象外	区分4	分類できない
メタノール	区分4	区分外	分類対象外	区分外	分類できない
イソプロピルアルコール	区分外	区分外	分類対象外	区分外	分類できない
添加剤	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
トリエタノールアミン	区分外	区分外	分類対象外	分類できない	分類できない
	皮膚腐食性及び 皮膚刺激性	眼に対する重篤な 損傷性/眼刺激性	感作性-呼吸器	感作性-皮膚	生殖細胞変異原性
ジクロロメタン	区分2	区分2A	分類できない	分類できない	分類できない
メタノール	分類できない	区分2	分類できない	区分外	区分外
イソプロピルアルコール	区分外	区分2	分類できない	分類できない	分類できない
添加剤	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
トリエタノールアミン	区分2	区分2A	分類できない	区分1	分類できない
	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器属 性(単回ばく露)	特定標的臓器属 性(反復ばく露)	吸引性呼吸器有 害性
ジクロロメタン	GHS(区分1A)	区分2	区分1	区分1	分類できない
メタノール	分類できない	区分1B	区分1	区分1	分類できない

	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器属性(単回ばく露)	特定標的臓器属性(反復ばく露)	吸引性呼吸器有害性
イソプロピルアルコール	IARC(3)	区分2	区分1	区分1	分類できない
添加剤	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
トリエタノールアミン	IARC(3)	分類できない	区分3	区分外	分類できない

## 12. 環境影響情報

生態毒性:

データなし

残留性/分解性:

データなし

生体蓄積性:

データなし

土壌中の移動性:

データなし

他の有害影響:

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

環境有害性:

	水生環境-急性有害性	水生環境-長期間有害性	オゾン層への有害性
ジクロロメタン	区分3	区分3	分類できない
メタノール	区分外	区分外	分類できない
イソプロピルアルコール	区分外	区分外	分類できない
添加剤	非公開	非公開	非公開
トリエタノールアミン	区分外	区分外	分類できない

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

廃棄物等を焼却処理する場合には、有害ガスを発生するため、適切な洗浄装置のある焼却炉を使用する。

塗料製品、廃塗料及び焼却灰などの一部は、特別管理産業廃棄物の「特定有害産業廃棄物」に該当する恐れがあるので、廃棄は廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に準じて行うこと。

汚染容器及び包装

環境に配慮し、空容器は内容物を完全に除去後、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

## 14. 輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件:

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

国内規制:

消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空法に定めるところに従うこと。

国連番号:

1760

応急措置指針番号:

154

国連分類:

クラス 6. 1 (毒物)

容器等級:

包装等級3

## 15. 適用法令

<製品>

毒物及び劇物取締法に該当しない

消防法別表第1 危険物に該当しない

港則法施行規則第12条危険物 告示 毒物類

航空法施行規則第194条危険物 告示 別表第1 毒物類

使用時において、都道府県条例に該当する場合、条例に基づき取り扱うこと。

## 16. その他情報

引用文献

(独)製品評価技術基盤機構(NITE)公表データ

(一社)日本塗料工業会「GHS 対応 SDS・ラベル作成ガイドブック」

(一社)日本塗料工業会「原材料物質データベース」

国際化学物質安全性カード(ICSC)

原材料製造会社の安全データシート

改訂履歴:

0. 0	2009年09月03日
1. 0	2015年08月05日
1. 1	2016年02月24日
1. 2	2017年09月21日
1. 3	2018年10月11日
1. 4	2020年07月17日

---

本データシートは、作成時または改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報等)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。

---